

## 研究主題

経営学を実践する場は、企業だけではありません。例えば、特定非営利活動(NPO)法人、社団法人、財団法人、医療法人、社会福祉法人、学校法人、宗教法人、協同組合、ひいては、大学サークルにも適用可能です。そして、最近、注目を浴びつつあるのが、地方自治体への適用です。組織をどう運営するかというマネジメントに始まり、戦略、マーケティング、会計までが地方自治体の生き残りをかける上で極めて重要になってきました。例えば、従来の官庁会計(単式簿記・現金主義会計)に企業会計(複式簿記・発生主義会計)の考え方が取り入れられ始めているように、地方自治体において「経営」の概念は不可欠となってきました。夕張市の財政破綻は皆様の記憶に新しいところでしょうが、少子高齢化社会の到来、さらに、景気回復の兆しが見えない日本において、多くの地方自治体が財政再生団体に陥る可能性を十分に秘めています。

そこで、本ゼミでは、経営学をどのように地方自治体の運営に適用できるかを実践的に学習します。

## 研究方法

3年生においては、地方自治体に出向いて頂いて、問題点を洗い出して頂きます。4年生においては、その問題に対する提言を基に、卒論を作成して頂きます。例えば、ある市において、人口減少が激しいという問題点があるとします。そこで、人口減少の理由が何であるかを追究するために、その市における様々なデータを収集し、さらに、近隣の市町村と比較して、分析します。そして、経営学の知識を使って、その問題点をどのように克服できるかという政策提言を行って頂きます。ゼミの現況として、現3年生が神戸市と一緒に研究を行っておりますので、新3年生も、とくにこの地方自治体について研究したいという希望がなければ、神戸市のご協力のもと、研究を行って頂くこととなります。

## 開講頻度

隔週

## その他

実践的に学習しますので、時間に余裕のある学生を希望します。ご参考までに、現在、ゼミ生が取り組んでいる神戸市との「まち活性化プロジェクト」のウェブサイトは以下の通りです。<http://www.b.kobe-u.ac.jp/kobe-project>